

平成 31 年 1 月 23 日

各 位

株式会社 高田工業所
代表取締役社長 高田 寿一郎
〒806-8567 北九州市八幡西区築地町1番1号
コード番号 1966(東証第2部、福証)

電流情報量診断システムを用いた クラウド型回転機械診断サービス

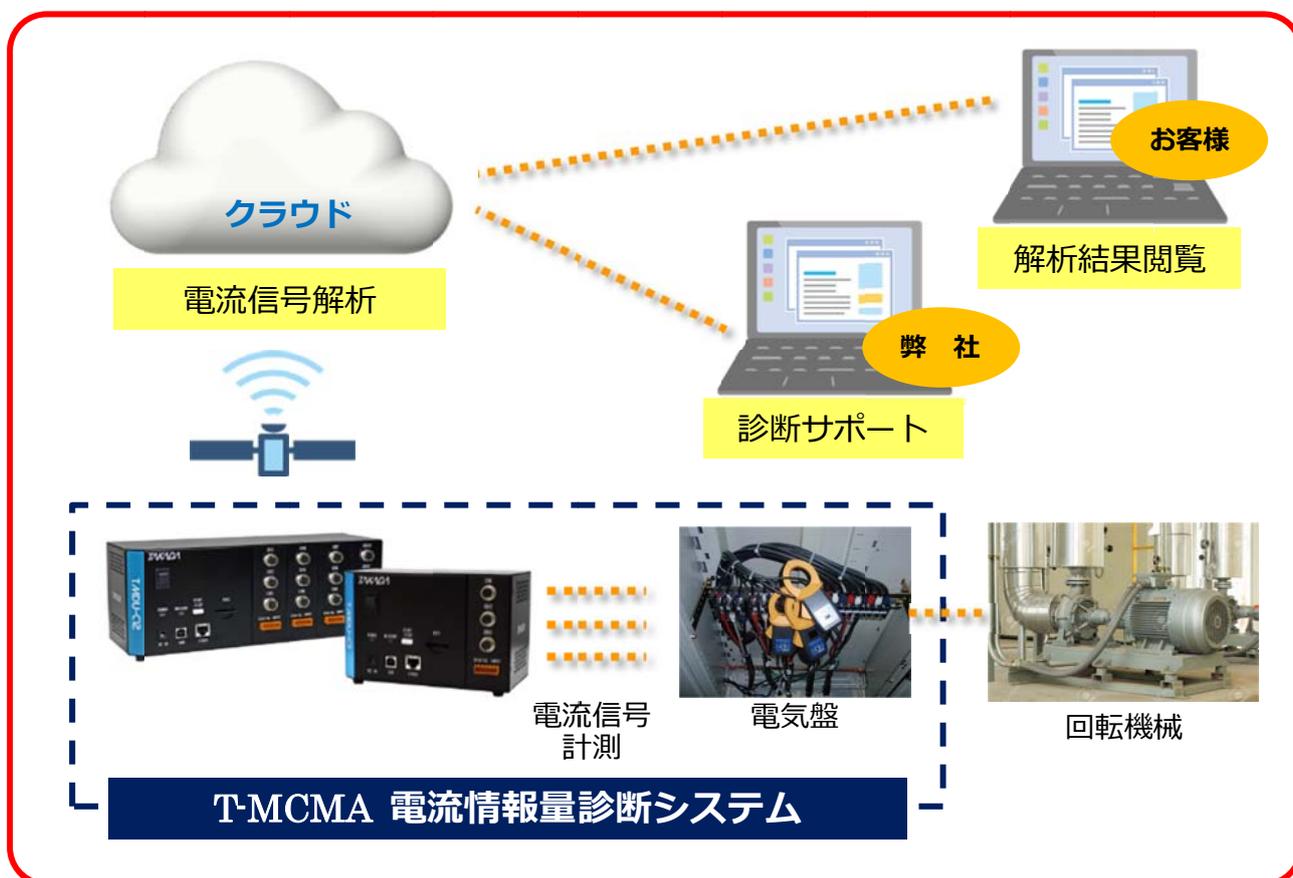
ティーエム クラウド 【TM-CLOUD】の販売を開始

—回転機械の診断コストの削減と手軽さを追求—

株式会社 高田工業所（代表取締役社長 高田 寿一郎）は、回転機械の診断において電流情報量診断システム（T-MCMA）を利用したクラウド型 回転機械診断サービス「TM-CLOUD」を販売いたします。

1. クラウド型回転機械診断サービス「TM-CLOUD」とは

今回、販売を開始する「TM-CLOUD」は、これまで販売しておりました「電流情報量診断システム（T-MCMA）※」を利用して収集・解析した回転機械の状態データをクラウド上で蓄積することで、いつでも・どこでも回転機器の状態の監視・診断を可能にしたサービスです。



(1) 概要

モータへの電流信号を電気盤内にて計測し、そのデータをクラウド内のソフト（当社製）にて解析することにより、回転機械の状態を診断します。また、遠隔地にある複数のプラントのデータもクラウド上にて収集・蓄積できるため、一元管理が可能となります。

更に、クラウド内のデータは、複数名で共有できるとともに、お客様の簡易診断において異常が発生した場合には、ご要望に応じて当社のスタッフがそのデータを精密診断し、設備の異常の原因を究明することも可能です。

このように回転機械の状態を知ることによって、メンテナンスのタイミングを把握することができます。

(2) メリット

- ・ インターネット環境下であれば、いつでもどこでも回転機械を監視できます
- ・ 回転機械の状態をメールで送信するため、異常状態をタイムリーに確認可能です
- ・ 各工場にある複数台の回転機械の解析データをクラウド上で一元管理ができます
- ・ クラウド上に診断・解析データが蓄積されるため、複数のユーザーで情報を共有可能です
- ・ ご要望に応じて、当社スタッフによる精密診断などのタイムリーな遠隔サポートが可能です
- ・ ハード、ソフト、データの準備・管理が不要なため、初期投資費用を抑制できます
- ・ 将来的には、AIを用いた自動診断への展開や、電力ロスを「見える化」することも予定しています

(3) その他

クラウドは、第三者からの侵入を防ぐため、専用回線を使用し、セキュリティ対策は万全を期しております。

また、クラウドサーバ内にデータを蓄積するため、災害時もデータを保護いたします。

2. 主な販売先

国内外の鉄鋼・化学・電力・半導体・社会インフラ・食品メーカー等を予定。

3. 販売開始時期

本格的な販売開始は、2019年4月からを予定。

以上

※電流情報量診断システム（T-MCMA）とは

（１）背景

設備のメンテナンスにおいて、これまでは、設備は壊れてからメンテナンスする「BDM（事後保全）」や設備の状態に関わらず定期的にメンテナンスを行う「TBM（時間基準保全）」が主流でしたが、近年では状態診断を行った上で、壊れる前にメンテナンスを行う「CBM（状態基準保全）」へ進化し、メンテナンス費用の削減と安定稼働への貢献が期待されています。

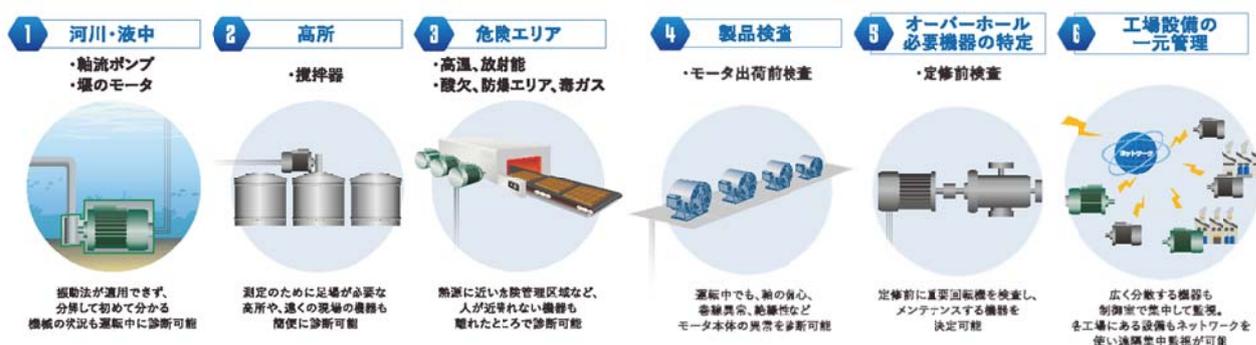
（２）概要

当社が 2006 年から開発を始め、2016 年 4 月に販売を開始した「電流情報量診断システム」は電気盤にセンサーを設置し、モータなどの回転機器に流れている電流を計測することで、モータおよびポンプ等の負荷側の状態を診断・解析します。

電気盤内で計測するため、設備の設置現場に左右されることなく状態を診断できます。また、診断結果が数値やグラフで表示されるため、解析が容易となり、製造業における人材不足や技能伝承の問題の解決にも有効です。

当システムにつきましては、「2010 年 T P M 優秀商品賞 開発賞」などの表彰を受賞いたしております。（当開発賞受賞については、当社ホームページ https://www.takada.co.jp/docs/news_top101020.pdf をご覧ください）

（３）適応可能場所



（４）販売実績

2016 年 4 月からの販売以降、鉄鋼・化学および電力等の工場向けに、計 17 社に販売いたしました。

本件に関する問い合わせ先 :

株式会社 高田工業所 総務部長 副島 淳一 電話 : (093) 632-2631